

名古屋市病院局 平成26年度予算の概要

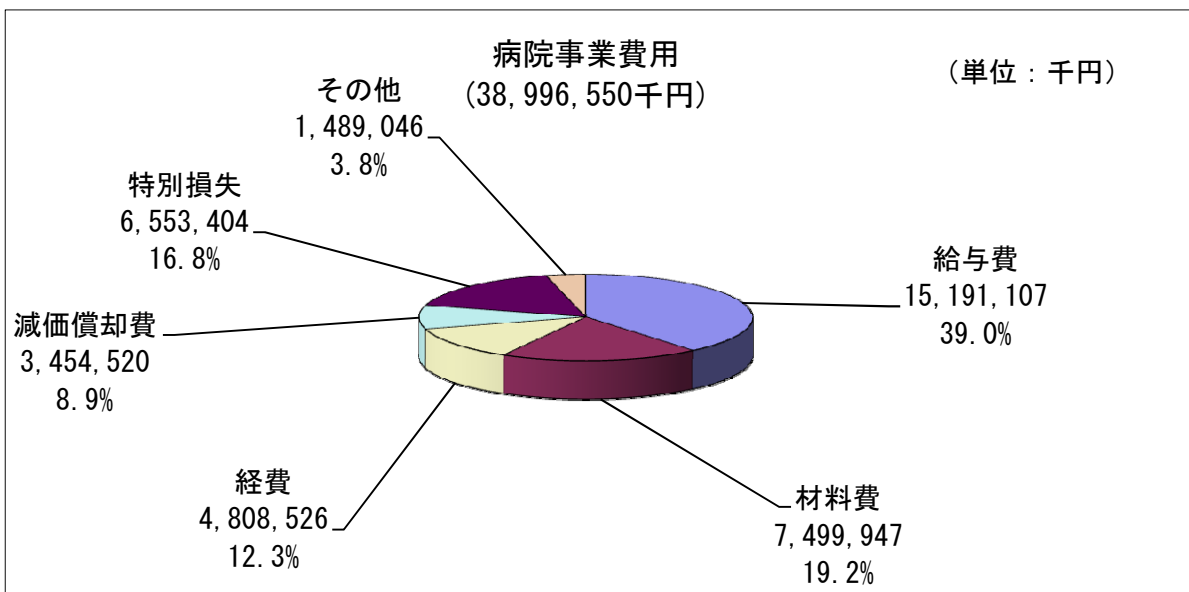
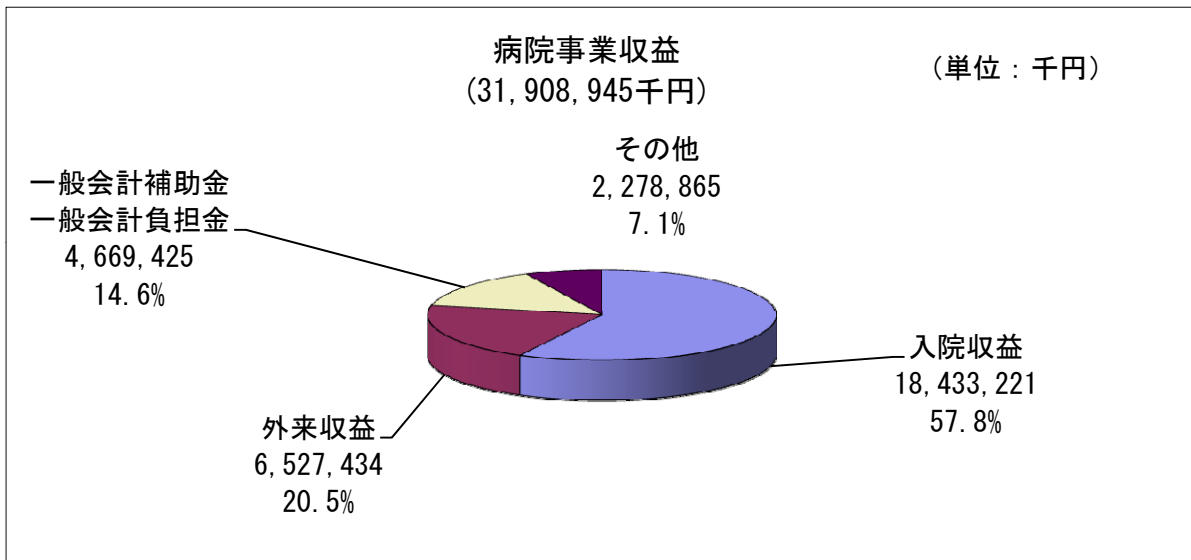
平成26年度の病院事業会計の収益的収支予算は、総事業収益を319億894万円余と見込み、総事業費用を 389億9,655万円と見込んでおり、70億8,760万円余の赤字となっています。これは地方公営企業会計制度の見直しにより退職給付引当金等の不足分を一括して特別損失に計上したことなどによるものです。市立病院を取り巻く環境は厳しい中ですが、良質な医療を安定的に提供できる医療体制を整備してまいります。

今後は、名古屋市立病院改革推進プランに基づき、より一層の経営改善を進めるとともに、患者・医療サービスの向上、職員の意識改革を進めていきます。

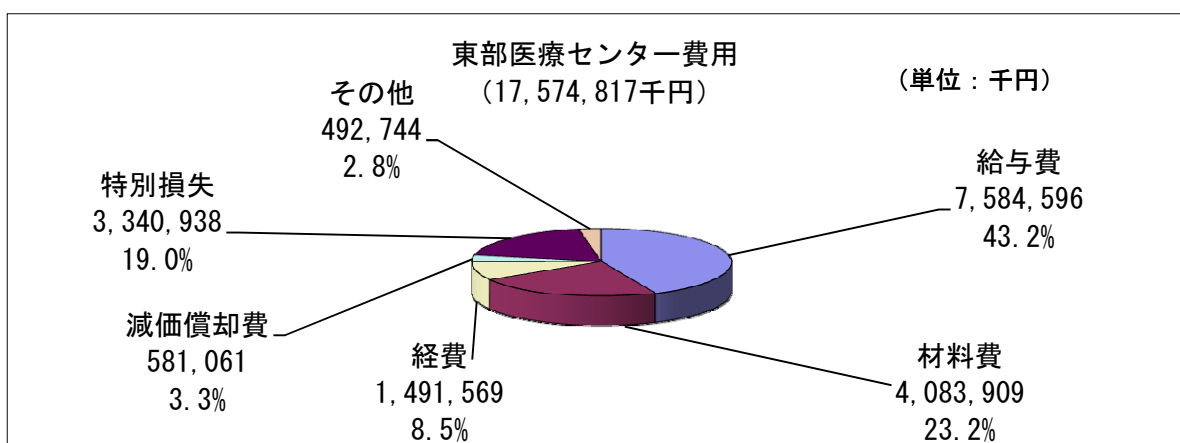
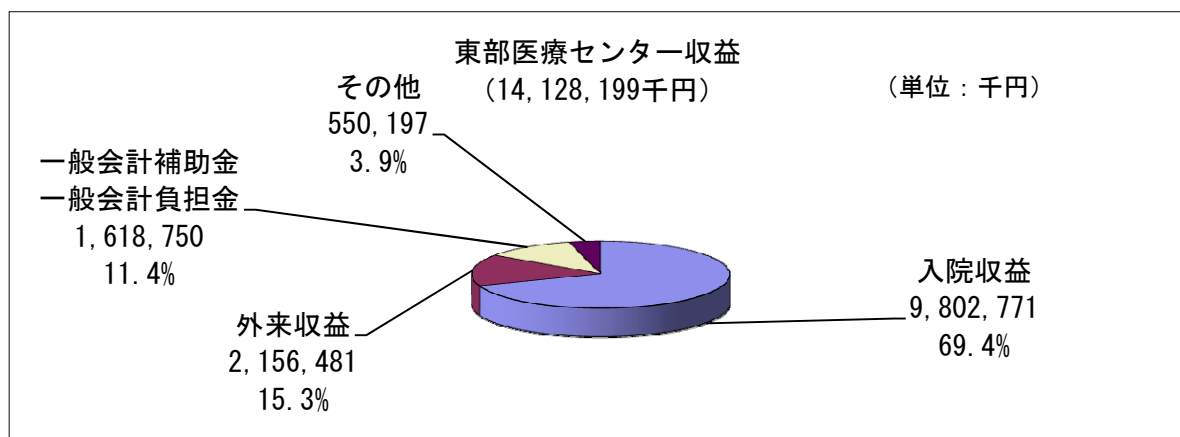
平成26年度の重要事項としては、東部医療センターにおいて 365日24時間患者を受け入れる「断らない救急」の実現を目指し、平成27年3月に救急・外来棟を開設するなど、救急医療体制の充実を図ります。また、西部医療センターにおいて特別室の利用率の向上を図るため、特別室使用加算額の引下げを行うほか、名古屋陽子線治療センターにおいて対象疾患の拡大を図るとともに、患者数の増加に伴い実施体制を強化するなど、からだにやさしく、都市型の立地を生かした通院治療も可能な陽子線照射による最先端のがん治療を提供します。

平成26年度の主な建設改良事業としては、東部医療センターにおいて救急・外来棟の改築工事を行うとともに関係備品を購入します。また、医療機能の更なる充実を図るため、病棟の改築に向けた設計を行います。その他に、西部医療センターでは全身用X線コンピュータ断層診断装置を購入し、緑市民病院では施設改修工事を行います。

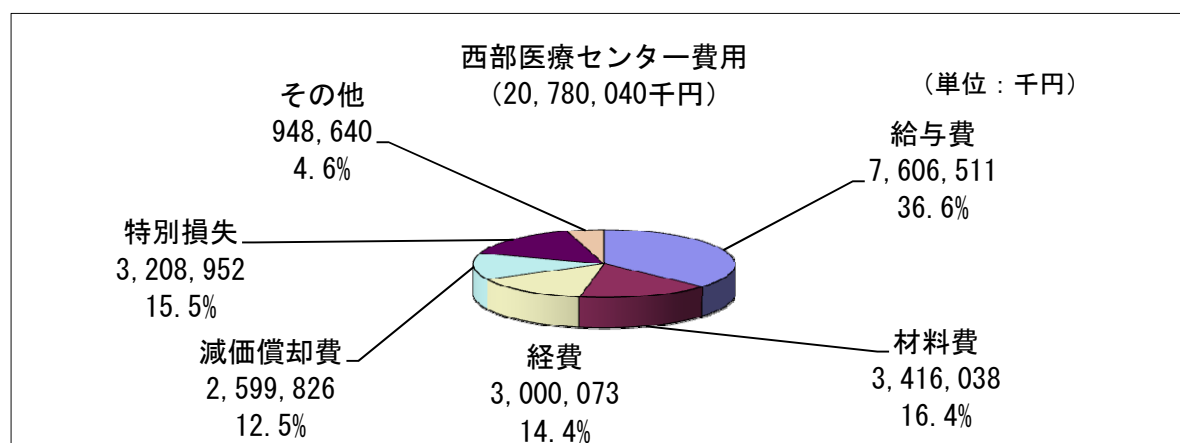
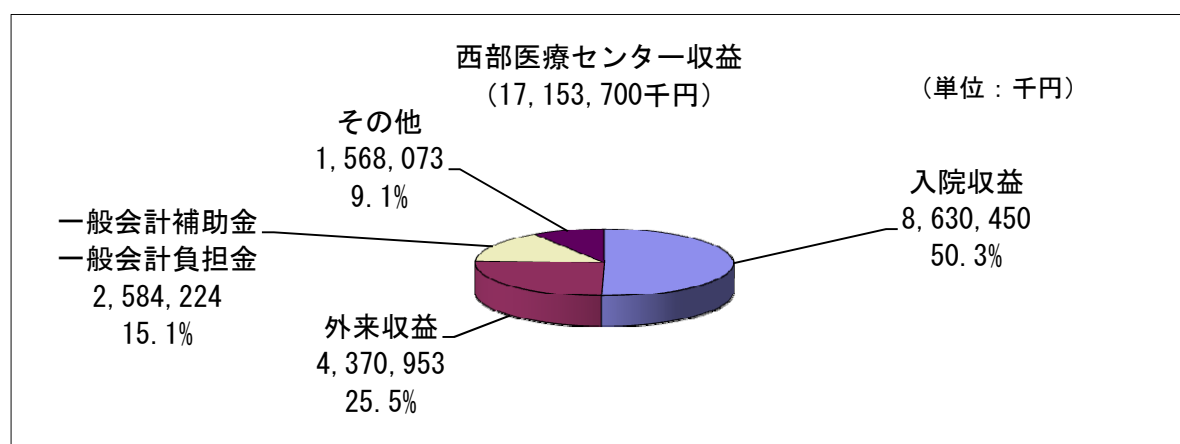
病院事業会計の収支



東部医療センター



西部医療センター



緑市民病院

